

平成 23 年度 知の創造研究部会の活動概要

(平成 23 年 1 月 1 日から 12 月 31 日まで)

研究部会名	知の創造研究部会
研究部会長 連絡先	植木英雄 (東京経済大学 経営学部教授) E-Mail: ueki-mhk@tcat.ne.jp
幹事 連絡先	植木真理子 (京都産業大学 経営学部准教授) E-Mail: uekimariko@gmail.com
部会メンバー	今年度 30 名程度の参加者を見込む。(新規参加希望者は、部会長まで Eメールで連絡)

1. 本年度の活動方針と活動・計画の概要

本研究部会では、先進企業における知の創造がどのような要因や条件により促進されるのか、また企業内外の環境変化に適応した知の創造と経営革新のプロセスを事例研究による探索から明らかにします。

研究会では、知の創造の事例発表を行ない質疑・討論により理解を深めます。また、事例研究の進め方として、分析のための共通のインタビュー調査書を活用して、業種、業態、規模等多様な視点から選定された研究対象企業に対してメンバーが分担ないし共同で企業の事例研究を行い、報告・討論により、研究課題を明らかにします。

本部会では、研究会での異業種・異分野間の知的交流を通じて新たな知や発想の気付きなどが共有・協創できるクリエイティブな研究の場とネットワーク化から、「知の創造を促進するマネジメント・モデル」の類型化の提示を行ない、知の創造による経営革新等に関する研究成果の出版化を目指します。

活動・計画の概要：

- 1) 知の創造に関する企業の事例を聞き、質疑・討論を行います。
- 2) 知の創造に関心を持つ研究者、企業人、コンサルタントなど多様なメンバーによる事例研究を行います。
- 3) 研究成果は、研究部会や学会年次大会等で適宜発表するとともに全体の研究成果をまとめます。

2. 本年度の活動・計画

名 称	活 動 内 容	日 時	場 所
第 14 回研究会	報告:(1)「NECグループの知識創造・継承の場の変遷 (SWQC から EGMへ)」 荒木聖史会員 (NEC通信システム CS 品質保証G 主任) (2)「新たな知の創造とイノベーションに向けて一人と人の繋がりが KM にもたらす進化」 福岡秀幸氏 (NECプラットフォームマーケティング 戦略本部エキスパート、EGM フォーラム主査)	3月4日(金) 午後6:00-8:30	大手町ビル 533号室
第 15 回研究会	報告:後明 廣志 会員 (日立建機株式会社開発・生産統括本部事業戦略室 VMコンサルタント) テーマ:「日立建機における新製品の開発 (モデルチェンジ) にウエイトを置いたVE活動の新展開」	5月20日(金) 午後6:00-8:30	大手町ビル 533号室
第 16 回研究会	報告 1:斎藤 稔 会員 (KMコンサルタント) 「KM 国際大会のに参加して」 報告 2:児玉 啓 会員 (マネジメント・コンサルタント) テーマ:「VE 活動による知の創造—日立建機とフジタの事例を基に—」	8月5日(金) 午後6:00-8:30	大手町ビル 533号室
第 17 回研究会 (予定)	リコー研究開発センター (相模原) 訪問:施設の見学とプレゼンテーション・質疑討論	10月7日(金) 午後1:30-4:00	リコー研究開発センター

第18回研究会	報告：林 弘夫 会員 (株) 日本アイ・ビー・エム (ナレッジ&リサーチ担当リーダー)、梶村茉莉子 会員 (GBS 担当) テーマ：「世界の CEO が考える変革と IBM によるプロフェッショナルのネットワーク化の取り組み」	12月9日 (金) 午後6:00-8:30 終了後に懇親会	大手町ビル 533号室
---------	--	-------------------------------------	----------------